

Global Athletic Trainer Program



〈2017~プログラム内容改編〉

グローバル・アスレティックトレーナー(GAT)プログラム



+R 未来を生み出す人になる。
立命館大学

スポーツ健康科学部

[びわこ・くさつキャンパス] 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1 TEL. 077-561-3760

グローバル・アスレティック トレーナー(GAT)プログラム

立命館大学の学士号とESUの修士号を取得し、
ATCを目指す留学プログラム

このプログラムは、ATCの資格取得を積極的に支援する
立命館大学スポーツ健康科学部独自の画期的なプログラムです。
ハイレベルな英語運用能力を身につけると共に、グローバルな視野を磨いて、
国際分野で活躍できるアスレティックトレーナーの育成を目指します。



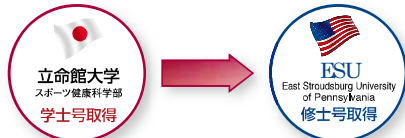
GATプログラムとは

GATプログラムは、CAATE公認のカリキュラムを備えた大学院を持つ米国の
East Stroudsburg University of Pennsylvania(以下、ESU)と提携し、4回
生の前期終了時点で立命館大学の卒業に必要な科目の修得を終え、夏頃か
らESU大学院へ留学し、立命館大学の学士号とESUの修士号の双方を取得
することで、ATCの受験資格を得ることができるよう設計されています(※)。



※早期卒業制度を利用した場合は、3回生修了をもって立命館大学卒業後、ESU大学院へ留学
するという形で、ATC受験資格取得までにかかる学費等の諸経費を軽減することが可能です。
ただし、早期卒業制度を利用するには所定の基準を満たすことが必要となります。

GATプログラムの特長



立命館大学で修得した科目がESU大学院進学先の先修要件
として認められることで、通常個人で留学する場合と比べて
短い期間で修士号まで取得し、ATCの資格認定試験の受験
資格が得られます



ATCのニーズ&活躍可能なフィールドは拡大中

■ スポーツの現場だけでなく医療現場でも

日本におけるATCの活躍フィールドは、現在プロスポーツや企業スポーツの現場がメインです。選手の応急処置から治療、リハビリテーション等を行い、日常生活や競技生活への復帰支援を行うのが主な役割です。しかし、最近は医療現場においても、ATCの重要性についての認知度や、ATCへの期待が高まっています。理学療法士とATCが連携し、複数体制で患者さんのリハビリテーションを細かくサポートするといった事例が次第に増えてきており、ニーズの広がりを実感しています。

Profile 東伸介氏 | 立命館大学ヘッドアスレティックトレーナー

1989年に大東文化大学を卒業後、米国ニューメキシコ大学に留学。1992年に同大学の
アスレティックトレーニング学科に編入し、卒業後にATCを取得する。1998年に現職
へ着任し、複数の体育会クラブのケアをするために大学に雇用された日本初のATCと
なる。ジャパンアスレティックトレーナーズ機構(JATO)の元副会長。



ATC(Certified Athletic Trainer)とは

1990年にアメリカ医学会において認知されたATCは、プロスポーツ選手から
一般の人々を対象に、活動(運動)中に起こる外傷の救急措置、傷害や疫病
の予防・認知・評価、リハビリテーションなどに関する専門職であり、理学療法
士や看護師等と同じ準医療従事者です。ATCの資格を得るためには、
CAATE※1公認のカリキュラムを持つ大学もしくは大学院を卒業(修了)し、
BOC※2による資格認定試験に合格する必要があります。
なお、米国における制度変更により、今後、ATCの受験資格が学士から修士
へと引き上げられ、2022年までに完全移行することが決定しています。

※1 CAATE: The Commission on Accreditation of Athletic Training Education
※2 BOC: The Board of Certification, Inc.
※本紙では「ATC」をCertified Athletic Trainerの資格名及びその資格を有した人の
双方を指す言葉として用いています。



各フィールドで活躍するATCの紹介

ATCの活躍フィールド(国内外)

米国では多くのATCが様々なフィールドで活躍しています。日本でも徐々に活動の幅を
広げており、2020年に東京オリンピックの開催を控え、今後の活躍が期待されます。

- プロスポーツ・企業スポーツチーム
- 中学・高校・大学スポーツチーム
- 教育現場(中学・高校・大学)
- 一般企業 等
- 医療機関・研究所
- トレーニングジム
- パフォーマンス団体



海外の大学スポーツの現場で活動

ATC歴
5.5年

大西 浩平氏

University of Hawaii at Manoa Athletics,
Graduate Assistant Athletic Trainer



■ 仕事内容は?

学生選手(主にフットボールと野球チーム)のケア、障害予防、リハビリ
テーション、練習・試合のカー(遠征を含む)など。例えば野球チームを
サポートする日は、午前中は怪我人のリハビリなどを行います。午後は
練習開始の約1~2時間前にはトレーニングルームに入り、練習前後
にそれぞれトリートメントを行います。

■ ATCにはどのような人材が求められている?

様々な事象に対して臨機応変に正確に対応できる人。また、選手やコーチ、
トレーナー仲間をはじめとして多くの人と接しながら進める仕事なので、
人と接し、コミュニケーションをとることが好きな人。

プロバスケットボールチームを 全面的にサポート

ATC歴
9年

宮内 彩氏

bjリーグ横浜ビー・コルセアーズアスレティックトレーナー



■ 仕事内容は?

プロバスケットボールチーム付きの専任アスレティックトレーナーのため、
基本的にチームが活動中は常に一緒に行動します。選手のウエイト
トレーニングや、練習、試合、遠征への帯同、時にはチームイベントにも
一緒に参加します。勤務時間はチームの活動に応じて変動しますが、
ウエイトがある普段の練習日は朝7時30分から勤務を開始します。

■ ATC資格を取得して役立っていることは?

知識と経験全てです。最低限の知識ですが役に立っています。ただ、
資格取得はただのスタートラインのため社会に出てから無知さに気付か
れます。日々勉強ですね。

セルフコンディショニングの普及に貢献

ATC歴
10年

石塚 利光氏

日本コアコンディショニング協会アスレティックトレーナー
リサーチディレクター・海外事業部マネージャー
東京大学女子バレーボール部アスレティックトレーナー



■ 仕事内容は?

当協会でも奨励・普及しているエクササイズ方法の検討・検証とともにエビ
デンスの収集を行っています。また、国内のみならず、アメリカでのセルフ
コンディショニング普及のために、各種運動指導団体のイベント(学会など)
に参加し、プレゼンや情報交換なども行っています。新たな情報を整理し、
当協会の運営委員会に助言・指導を行うということも仕事の一つです。

■ 今後の活動の展開予定や夢は?

まずは2020Tokyoオリンピック・パラリンピックで活躍できる選手を
サポートすること。そして、アスレティックトレーナーの知識や技術を活かして、
より多くの方にセルフコンディショニングを実践してもらえよう、本物
の知識と技術を多くの方に届けられる教育システムをつくることです。

フリーランスとして幅広く活動

ATC歴
6年

根城 祐介氏

パーソナルトレーナーアスレティックトレーナー

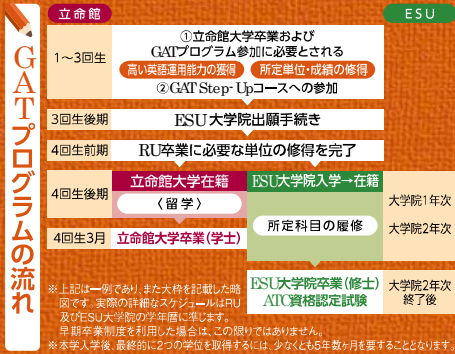


■ 仕事内容は?

顧客とのパーソナルトレーニングセッションや機能改善のトレーニング、
セミナーやスクールでの講師、そのための資料作成など。業務委託という
形なので、比較的自由に活動しています。

■ 今後の活動の展開予定や夢は?

個々で出来る事、影響を与えられる事は限られているので、同じ志を持った
仲間と活動し、運動(スポーツ&エクササイズ)の素晴らしさと楽しさを
一般の方に広げたいと思っています。それが将来のアスリートを生む
きっかけになり、またスポーツ業界を盛り上げることも繋がると思い
ます。そしてATCだけでなく、色々な資格の方(鍼灸・理学療法・アス
レティックトレーナーなど)と広く情報を共有し、日本のスポーツ・医療に
関わる知識・技術の底上げに関わってまいります。



スポーツ健康科学部で開講されるGATプログラム参加のための必修科目や、ESU大学院への出願手続、ESU大学院での開講科目等は、全て英語で実施されるため、GATプログラムへの参加には高い英語運用能力が求められます。また、スポーツ健康科学部における履修を一定以上の成績でしっかりと積み重ねていること、ATC資格取得に向けて高い意欲があることが必要です。GATプログラム参加のための必要条件是右記の通りです。また、GATプログラムの参加を目指して知識とスキルを高める「GAT Step-Upコース」という低回生対象の支援プログラムを用意しています(下記参照)。



GATプログラム参加支援～GAT Step-Upコース

GATプログラム参加を目指す皆さんを支援するGAT Step-Upコースを用意しています。このコースは、英語運用能力を高め、且つ必要なアスレティックトレーニングの知識を向上させることを目的としています。
※GAT Step-Upコースの詳細な内容は、入学後、年度毎の最新の要項にて確認してください。

正課授業

1 「スポーツ健康科学特殊講義Ⅱ(AT-1~4)」の開講(使用言語:英語)

GATプログラム参加のための必修科目として、アスレティックトレーニングに特化した4科目を開講しています。米国におけるアスレティックトレーニングの歴史、スポーツ傷害のメカニズムや予防対策、応急処置、そして解剖学等を英語で学びます。また、理論を現場に応用するための実践的な指導も行われます。



正課外での支援

3 英語運用能力アップ支援

自己学習支援

- レベリに応じた担当教員からの学習アドバイス
- オンライン課題 など

外国語講座の受講料補助や英語外部試験の受験料補助*

- CLA(言語習得センター)のTOEFL®テスト対策講座の受講料補助
- TOEFL iBT®テスト受験料補助

*年度内に補助を受けられる回数には限りがあります

4 アスレティックトレーニングスキルアップ支援

- 【1回生時】必修科目(日本語)の授業内容を踏まえた、英語によるフォローアップレクチャーや自己学習支援
- 【2回生以降】英語による「スポーツ健康科学特殊講義Ⅱ(AT-1~4)」の授業内容に沿った実践的・発展的なレクチャー



5 キャリア形成セミナーの実施

国内外において、プロスポーツ、教育現場、医療現場等の様々なシーンで活躍しているATCを招いたセミナーの開催

過年度招聘例

- 国内大学 アメリカンフットボール部 アスレティックトレーナー
- 米国大学 スポーツパフォーマンスディレクター
- プロバスケットボールチーム アスレティックトレーナー兼通訳
- スポーツ整形外科 リハビリテーション担当 アスレティックトレーナー
- スポーツ量販店 セールストレーナー など

GATプログラム参加(ESU大学院入学)のための必要条件

- 1 スポーツ健康科学部に在学し、ATCの資格取得に向けて高い意欲を持つ者
- 2 ESU大学院入学手続き時点において、TOEFL iBT®テストスコア 560点以上、もしくはTOEFL iBT® テストスコア83点以上を有する者
- 3 4回生前期終了時点で、スポーツ健康科学部における単位修得状況が、ESU大学院入学の要件、及び立命館大学卒業の要件を満たす見込みがある者
- 4 その他ESUが定める大学院入学に必要な基準を満たす者



2 国内・海外インターンシップの実施(使用言語:英語)

クリニカルATインターンシップ(国内)

日本人ATCのもとで、これまで英語を介して学んだアスレティックトレーニングに関する知識・スキルを、実践的な現場で活用し習熟することを目指す。

クリニカルATインターンシップ(海外)

ハワイ大学マノア校において、現場で必要となる最先端の専門知識・用語・スキルを英語で修得します。また、ハワイ大学マノア校および関連高校のコリジョンスポーツ・コンタクトスポーツの試合などでのアスレティックトレーニングに関わる現場研修(ATCの実務補助)を通して、実践の経験を積み、コーチ・選手・ATCとの英語でのコミュニケーション能力も高めます。



2017年度GATプログラム参加(ESU大学院入学)決定

GAT Step-UpコースにてGATプログラム参加に向けて綿密に準備。多くの出会いと学びを経て、人間的にも大きく成長。

鈴木 拓也さん | 高田高校(三重)出身

■ GATプログラムに興味をもったきっかけは?

もともと、人体の構造への興味や、サッカー、テニス、体操など、様々なスポーツに触れてきた経験から、スポーツ関係の仕事に就きたいという思いがありました。入学後、準医療従事者として国内だけでなく人命救助に携わることが出来るATCの資格と、その資格取得を目指すGATプログラムを知り、これだと思いました。

■ 英語の勉強方法や英語での授業について

まず、TOEFL®テスト対策講座(※)を受講し、勉強の仕方を学びました。そして、市販の問題集や英語で書かれた授業用テキスト、web上の記事などを用いて学習を重ねました。また、自宅での日あったことを英語で話し続けるなどスピーキング力強化にも継続的に取り組み、直接英語で考えて発語できるようになりました。また、アスレティックトレーニングに特化した英語による

※立命館大学CLA(言語習得センター)が実施する外国語講座の1つ

専門科目を受講し始めた最初の半年は、英語力の不足や専門用語の理解不足に加えて、毎回課される多くの課題にとても苦労しましたが、次の半年は授業が楽しく感じるようになり、ATCとしての活動を想定した英語でのプレゼンテーションをこなすことができるようになりました。これらの成長は2回生のハワイでのインターンシップでも実感することができ、現地の先生にも前回のインターンシップ時からの英語での発信力の大幅な伸びを褒められました。

■ GATプログラム参加(ESU大学院入学)を目前に控えて

3回生の秋にESU大学院入学に必要な基準に到達できる見込みとなり、4回生の現在は立命館大学の卒業に必要な科目の履修やESU大学院入学及び渡米のための手続き、現地の学修の準備に奔走しています。GAT Step-Upコースでの学びや成長、ATCとしての様々なフィールドで活躍する多くの方との出会いなどの全てを土台とし、ATCを目指してESU大学院にて頑張っていきたいと思っています。



Student Interview